

「高効率黒液回収ボイラーの導入について」

日本製紙株式会社は、2030 ビジョンにおいて「GHG 排出量 2013 年度比 54%削減^{※1}」を掲げ、燃料転換、省エネルギー、生産体制再編成の推進などによる GHG 排出量削減に取り組んでいます。

この達成に向け、石巻工場での燃料転換について、GX 経済移行債を活用した政府による支援事業「排出削減が困難な産業におけるエネルギー・製造プロセス転換支援事業（事業Ⅱ（化学・紙パルプ・セメント等））」に応募し、2025 年 1 月 21 日に採択されました。

※1 エネルギー事業分野を除く製品製造に関わる排出

<石巻工場での GHG 排出量の大幅な削減計画>

石巻工場では、木材から化学パルプを製造する時に副生される黒液（こくえき：バイオマス燃料）を「黒液回収ボイラー」で燃焼し、エネルギーとして利用していますが、紙の乾燥には多量の蒸気を必要とするため、石炭ボイラーも使用しています。今回、高効率な黒液回収ボイラーを設置して石炭ボイラー1 台を停機し、石炭から黒液に燃料を転換することで、GHG 排出量を大幅に削減します。

<石巻工場での設備投資計画の概要>

設置場所 日本製紙（株）石巻工場

投資規模 555 億円（うち政府支援上限額：183 億円）

投資内容 高効率黒液回収ボイラー 定格蒸発量 390t/h
蒸気タービン・発電機 タービン出力 56MW

GHG 排出量削減^{*1} 50 万 t-CO2e（79 万 4 千 t-CO2e → 29 万 4 千 t-CO2e）

当社排出量^{*2}の 10%

稼働開始 2028 年度 第4 四半期

工程	2025年			2026年			2027年			2028年			2029年		
	1	7	10	1	7	10	1	7	10	1	7	10	1	7	10
高効率回収ボイラー 設置大工程	▽2025年4月工事決定			▽2026年2月土建工事開始						▽2028年4月試運転開始			▽2028年下期営業運転		
	エンジニアリング			高効率回収ボイラー設置工事						試運転			営業運転		
既設石炭ボイラー							運転			段階的に廃止					
既設回収ボイラー							運転			段階的に廃止					

^{*1} 既存石炭ボイラーの停機による削減効果を含む

^{*2} 製品製造に関わる Scope1 および Scope2 排出量